

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	放課後等デイサービス からふる古河		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 13日		～ 2026年 2月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23名	(回答者数) 23名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 13日		～ 2026年 2月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員全員が、正社員として雇用されています。	<ul style="list-style-type: none"> ●申し送りの徹底：職員全員が午前中から出勤し、お子様の様子や支援の方針について情報共有を行い、支援の準備にしっかりと時間を使うことができています。 ●支援方法を統一することで、お子様が安心して過ごせて、信頼関係を築いていけるように心がけております。 ●職員間のコミュニケーションを円滑に行い、情報の共有、相談、意見交換がしやすい職場環境を心がけております。 	<ul style="list-style-type: none"> ●支援に携わる中で悩んだこと等、各職員が声を上げていきやすい環境づくりを心がけ、全体で解決していけるようにいたします。 ●新しい療育活動や遊びのアイデアの情報を共有し合い、活動内容の固定化を防ぎます。 ●役割を定期的にローテーションし、全員が幅広い支援や業務を経験できるようにします。
2	お子さまや保護者様に、心ある寄り添った支援を行っています。	<ul style="list-style-type: none"> ●お子様や保護者様との日々の会話を大切に、小さな変化にも気づけるように努力しています。 ●お子様一人一人のペースや特性を尊重し、安心できる環境づくりを心がけています。将来を見据えて、できたらいいなと思うことを増やしていきます。 ●送迎時や連絡ノート、面談や相談支援等で保護者様の不安に寄り添い、一緒に考え、必要に応じて助言や情報共有を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●今後も懇談会や勉強会、きょうだい児も含めた交流会等を開催し、子育ての不安や、進路の不安等の悩みの共有ができる場を設けていく。 ●お子様の「やってみたい」の声に応えながら、一緒に楽しみ、「できた」嬉しい気持ちを共有していきます。 ●職員のスキルアップの為、現状に必要な研修内容を計画して、学ぶ機会を設けていきます。
3	お子さまの特性や成長、ニーズに応じた、きめ細やかな個別支援計画を作成しています。	<ul style="list-style-type: none"> ●個別支援計画は、お子様の発達や特性を総合的に考慮し、5つの領域からバランスよく支援が行えるよう配慮して作成しております。 ●お子さまに合った個別の療育プログラムに基づき、お子様とご家族、ひとりひとりのお気持ちに寄り添った支援が行えるように計画を作成しております。 ●いつか大人になられるお子様の将来につながるよう、できることを増やし、「生きる力」を育めるよう立案しております。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「生きる力を育む」ための支援プログラム内容の充実を図っていく。 ・生活力を高める ・社会性を育む ・自己管理、自己肯定感を高める ・健康管理や身体的な発達をサポートする ・自分で考え、判断する力を育む 等の内容の更なる充実

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動スペースについて基準は満たしているが、狭さを感じることにあります。	<ul style="list-style-type: none"> ●現在の活動スペースは、法的基準や施設規模に関する基準は満たしておりますが、実際に活動を行う際にお子様たちが活発に動く際に特に狭さを感じる場面があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●運動活動時には座卓を取り払い、スペースを広くとれるようにしています。 ●グループ別の活動や、お子様の特性に合わせたゾーン分けを行い、間仕切りでの構造化を図りながら、スペースを有効活用できるようにします。 ●屋外でのびのびと身体を動かし遊ぶ機会や、買い物・外食学習、美術館や図書など地域資源も活用してまいります。
2	外遊び等で利用できる屋外スペース(庭)が無いことについてです。	<ul style="list-style-type: none"> ●現在、屋外活動ができる専用の庭を併設していないため、お子様たちが自然の中で体を動かしたり、屋外での学びを提供することに制限があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●お子様のご様子に応じて、安全が確保できる状態で、近隣の公園や広場を活用した外遊びの機会を持つなど、地域資源を積極的に活用します。 ●職員駐車場の空きスペースを安全に配慮し、活用します。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス からふる古河

公表日 2026年3月18日

利用児童数

23名

回収数

23名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	3		2		●基準については満たしておりますが、今後もスペースの有効活用や、特性や活動内容に応じたグループ分け、社会資源を利用した外出活動の実施等を行い、ストレスなく過ごしていただけるように環境に配慮してまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	21			2		●職員の入れ替わりがあった際には、連絡ノートに紹介文を貼らせていただき、送迎の際にご挨拶をさせていただいております。今後はお手紙等での紹介もさせていただきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	2				●当事業所では、運動スペース・座って行う活動のスペース・支援グッズや玩具等の収納スペース。個別課題やグループ活動、自立課題に取り組むスペースに分けております。 ●全体のスケジュールボード、それぞれのお子様の特性に合わせたツールをご用意して情報の伝達に配慮しております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22	1			●特にトイレを綺麗にしていると感じが持てます。	●清潔で安心してご利用いただける環境づくりを大切にし、今後もトイレを含めた事業所内の清掃・衛生管理を継続してまいります。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22	1				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22	1				
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22	1				
11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	15	4	2	2	●グループに分かれていず取りゲーム、とかしたら楽しいと思います。 ●年に1回しか聞いた事がないので…。	●ご意見ありがとうございます。今後も、お子様が楽しんで参加できるよう、グループ活動やさまざまな遊びを取り入れながら、活動内容の充実に努めてまいります。 ●児童館等での外部児童との交流については、実施方法や機会について今後検討し、可能な範囲で取り入れていけるよう努めてまいります。	
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23						
13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22				1		●今後、該当の機会であることが保護者様にも伝わりやすいように、お伝えし、説明させていただきます。

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	21	2			●相談に何度も乗ってもらいました。本当に助かります。	●温かいお言葉をありがとうございます。今後も保護者の皆様が安心して相談できるよう、丁寧な対応と信頼関係の構築に努めてまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	20	1		2		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23					●半年ごとの面談、家族支援（事業所内での相談支援や訪問、オンラインでの相談支援）として相談し合い、助言も随時行っております。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20	1		2		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	17	4		2	●兄弟がいないので分かりません。	●皆様のご協力のおかげで、今年度も無事に保護者会を開催することができました。今後ともお集まりいただく機会を設けて、交流、情報交換、情報提供の機会をご提供してまいります。 ●公開週間（保護者会）の際に、きょうだいの方のご参加も募ってまいりました。ご都合もあり参加していただけの方は少数となってしまいましたが、今後も交流の機会を設けさせていただきたいと思っております。 ●ご兄弟への相談支援もお受けしておりますので、いつでもお声掛けください。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23					
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	21	2			●通信は紙で、SNSとかでのリアルタイムではないのが残念。	●ご意見ありがとうございます。お知らせ方法については、分かりやすく確実に情報をお伝えできるよう紙面での通信を継続しておりますが、今後は保護者の皆様の利便性も踏まえ、情報提供の方法について検討してまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23					●保護者の方にお配りする「あゆむ通信」には、ご契約時に保護者様にご了承をいただき、お顔の見えるお写真を掲載させていただいております。外部の方の目にする「あゆむ通信」やホームページ、ブログ等お写真は、お子様のお顔やお名前が見えないように加工してお写真を使用させていただいており、こちらもご契約時にご説明をし、ご了承をいただいております。 ●関係書類、記録等は施錠できる書庫にて保管させていただいております。 ●送迎社内では、お子様のお名前が明記されたものについてはダッシュボード内に入れ、外部の目に触れない様に保管しております。 ●定期的に職員の研修を実施し、各々が自覚をもって個人情報の漏洩を未然に防ぐことができるよう努めております。
	非常時等の対	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	23				
24		事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	23					●当事業所では、定められた全ての避難訓練を計画的に実施しております。 ●もしもの時に、お子様もパニックにならず速やかに避難できるように、ミニ避難訓練も実施しております。
25		事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23					

応	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	23				●怪我等などの事故の際にも、速やかにご報告をし、保護者の方と連携を取らせていただき、治療が完了するまで対応を続けさせていただきます。今後ともご心配をおかけせず、すみやかに十分な対応をさせていただきます。	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	22	1			●にここにごして、私たちも安心して預けられる素晴らしい場所です。	●温かいお言葉をありがとうございます。お子様との信頼関係を大切に、今後とも、丁寧で心ある支援をご提供してまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	20	3			●とても楽しみにしています。	●今後もお子様のニーズにお応えしながら、楽しみながら意欲的に取り組んでいただける活動を設定して参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	22	1			●共働きである私たちに親身に寄り添ってくださり、本当に感謝しています。 ●いつも大変お世話になっております。今後、もよろしく願います。	●温かいお言葉をありがとうございます。今後ともご家庭の状況に寄り添いながら、安心してご利用いただけるよう、丁寧な支援と対応に努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス からふる古河		公表日		2023年 3月 18日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		●グループ活動、個別活動、集団活動を計画的に行い、スペースが有効に活用できるように工夫しています。 ●テーブルと椅子を使用しておりましたが、座卓に変えることで、スペースの確保に努めました。	●外出活動も積極的に取り入れ、広々とした屋外でのびのびと身体を動かし遊ぶ機会や、買い物・外食学習、美術館や図書など地域資源も活用しながらカバーしていきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		●【管理者】兼【児童発達支援管理責任者】1名 ●【保育士】5名【児童指導員(非常勤)】1名以上を配置し、基準を満たしております。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		●運動・座って行う活動・個別課題やグループ活動、自立課題に取り組むスペース・収納等スペースを分けわかりやすくしています。 ●全体のスケジュールボード、個々の特性に合わせたツールや支援方法により、情報の伝達等に配慮しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		●日々清掃し清潔を保っています。個々の特性に配慮し環境調整を行い、活動毎にスペースを分て過ごしやすい環境を作っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		●気持ちが昂ってしまったときや、不安な時など、落ち着いて過ごせるようスペースを確保し、個別の対応ができるようにしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		●全ての職員が参加して行えるように心がけています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		●保護者向けの評価表にご意見いただくことにより、業務内容の改善につなげられるように定期的に機会を設けています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		●日々ミーティングを行い、意見を出し合い相談しながら業務の改善に努めています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5		●第三者による外部評価は行えていませんが、相談支援専門員や他事業所の方のご意見を聞いて、業務の改善につなげています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		●外部の研修への参加や事業所内での研修の定期的な実施をし、各職員が積極的に参加しております。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		●支援プログラムが作成されており、保護者にもお渡しし、ホームページ上でも公表しております。	●今後も新しい視点も取り入れながら、プログラムを更新していきたいと思えます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		●毎朝のミーティング時に情報の共有等を職員全員で行い、支援の課題や今後の支援方法等をその都度話し合っております。計画の更新前にはモニタリング会議もを行い、全職員が個々のお子様についての理解を深められるように心がけております。 ●計画の更新の際は保護者様と面談をさせていただき、ご利用時のお子様のご様子をお伝えするとともに、ご家庭や学校その他の場所でのお子様のご様子や、お子様のご様子から要望を見出したり、お子様と保護者様が抱える不安やお困りのこと、ご希望等をお伺いし、新たな計画の作成に反映させております。		

適切な支援の提供

13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		●各会議や、日々のミーティングには全員が参加し、支援内容の振り返りや見直し、方法の共有を行っております。	
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		●各会議や、日々のミーティングには全員が参加し、支援内容の振り返りや見直し、方法の共有を行っております。計画はどの職員でもすぐに確認できる状態になっています。	
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		●標準化されたアセスメントツールを用いて、偏りのない視点で評価が行えるようにしております。行動観察、日々の関り、保護者の方とのコミュニケーション、職員間での意見交換などインフォーマルなアセスメントも使用しながら状況の把握に努めています。	
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		●個々のニーズに応じた「本人支援」「移行支援」「地域支援」をご提供できるよう、個別支援計画を作成し、支援内容を設定しております。	
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		●職員で話し合い、プログラムの立案を行っております。	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		●研修や学習の機会を設けて、新しいプログラムを取り入れることも心がけております。	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		●お子さまのニーズや特性に配慮し、集団活動と個別活動を組み合わせ計画を作成しています。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		●毎朝のミーティング時に支援方法等を職員全員で確認し、共有しています。だれか一人が抱え込むことにならないよう、チームを意識した打ち合わせ内容、サポート、フォロー体制が取れるようにしております。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		●個人記録を記入するにあたり、全体で確認しながら様々な視点からの振り返りや報告が記録できるように心がけております。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		●毎回、ご利用ごとに個人記録等の必要な記録を記載し、翌日のミーティングにて全員で確認、支援の見直しを行っております。	
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		●半年に一度、または適時、全員参加でモニタリングを行い、計画の見直しを適切に行えるように心がけております。	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5		●お子さまの日常生活の充実と自立支援のための活動、多様な遊びや体験ができるプログラム、地域との交流の機会の提供、お子様が主体的に参加できる活動内容の工夫心がけた支援を行っております。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		●自己選択の場を設け、お子さまの意志を尊重し、絵カードの使用や、2択から選べるようにするなど伝えるためのサポートを行っております。自分で選択したことによる成功体験から、自信や主体性を育み、選ぶ楽しさや選んだ行動への責任などを学ぶ機会になるよう支援しております。	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		●お子さまの状況をよく理解した者が参加し、事前に職員全体で、提供する情報や確認したい情報の共有を行い参加しております。	
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		●お子さまやご家族を取り巻く関係機関と連携を取りながら支援しております。	
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		●学校との連絡や情報の共有を適時行いながら支援しております。	

関係機関や保護者との連携	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		●保護者の承諾を得て連絡を取らせていただき、お話を伺ったり、見学させていただいております。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		●行ってきた支援内容の提供を移行先の事業所と、ご家族にも行わせていただいております。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5		●研修の機会に積極的に参加させていただいております。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5		●地域の施設に出かけて過ごす際に、外部のお子様との交流の機会を持つことができました。ボランティアの受け入れも行き、一緒に過ごす機会を設けております。	●児童館に出向き、外部のお子様との交流の機会も持つことができました。今後、より充実させていけるよう検討してまいります。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1		●機会があれば積極的に参加していきたいと思っております。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		●送迎の際のお話や連絡ノート、その他の連絡ツールを活用し、情報を共有しあいその体制を整えております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		●個々の保護者様のお悩みや困りごと等に相談支援を行わせていただいております。必要に応じて、ご家庭を訪問させていただいての相談支援も行わせていただいております。 ●今年度は公開週間を設け、保護者の皆様にお集まり頂き、お子様と簡単に行えるクッキングの体験、懇談会では相談や情報の共有等の機会もご提供させていただきました。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		●ご契約時や内容の変更が生じた際など、適時に説明をさせていただいております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		●個別支援計画の更新の際は保護者様と面談をさせていただき、ご利用時のお子様のご様子をお伝えするとともに、ご家庭や学校その他の場所でのお子様のご様子や、お子様のご様子から要望を見出したり、お子様と保護者様が抱える不安やお困りのこと、ご希望等をお伺いし、新たな計画の作成に反映させて頂いております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		●計画案を提示しながら保護者様と面談でご相談し、お子様のニーズを取り入れ本案を作成し、ご説明して同意をいただいております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		●定期的な面談以外にも、必要に応じて家族支援として面談、訪問、オンラインでの相談支援を行っております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5		●公開週間の折には、ごきょうだいのご参加も募らせていただきました。一緒に宝探しゲームなど行っていただき、からふるのお子様と一緒に遊んで楽しく過ごしていただきました。	●ごきょうだい様のご都合もあり、ご参加が難しいこともありますが、今後も交流の機会をご提供するべく、計画していきたいと思っております。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		●苦情についての相談窓口を設置しており、苦情解決委員会も設置されております。県や市の相談窓口についても周知しております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		●「あゆむ通信」を定期的に発行し、お子様方のご利用中のご様子や支援について知って頂く機会を設けております。ホームページも積極的に活用しております。	●ホームページのブログの活用も行って参ります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		●事業所内でも個人情報の保護についての学習を行い、職員全員が共通理解の下で安全な情報の取り扱いができるようつとめています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		●個々の特性に合った伝わりやすい伝達方法でお伝えしています。	

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		●近隣の事業所様や、ボランティアで、お子様方と音楽の活動を行ってくださる等交流の機会をいただいております。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		●各マニュアルとも策定し、いつでも保護者の方の閲覧が可能です。定期的に各マニュアルを用いた研修や訓練も行っております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		●業務継続計画の策定はされており、必要な訓練を定期的に行っております。ミニ避難訓練も行い、お子様方が速やかに避難の態勢が取れるように機会を設けています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		●保護者の方より情報を共有していただき、主治医の指示書もいただいております。職員間でも情報の共有をしてマニュアルを作成し、シミュレーションを行っています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		●主治医の指示書に基づいた対応を行っております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		●安全計画を策定しております。計画に基づき、研修や訓練、危険個所の確認や改善等行っております。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		●定期的にご家族への周知を行い連携を図っております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		●ヒヤリハットを職員が積極的に上げていける環境づくりに留意しています。再発防止策を全員で話し合っております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		●虐待防止のための研修や委員会活動を定期的に行い、各職員が虐待防止への意識を持ち、チームで連携して支援し虐待を防止していけるよう対応しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		●身体拘束についての知識を持ち、職員全員が理解した上で支援にあたるように、定期的な研修や委員会による活動を行っています。	